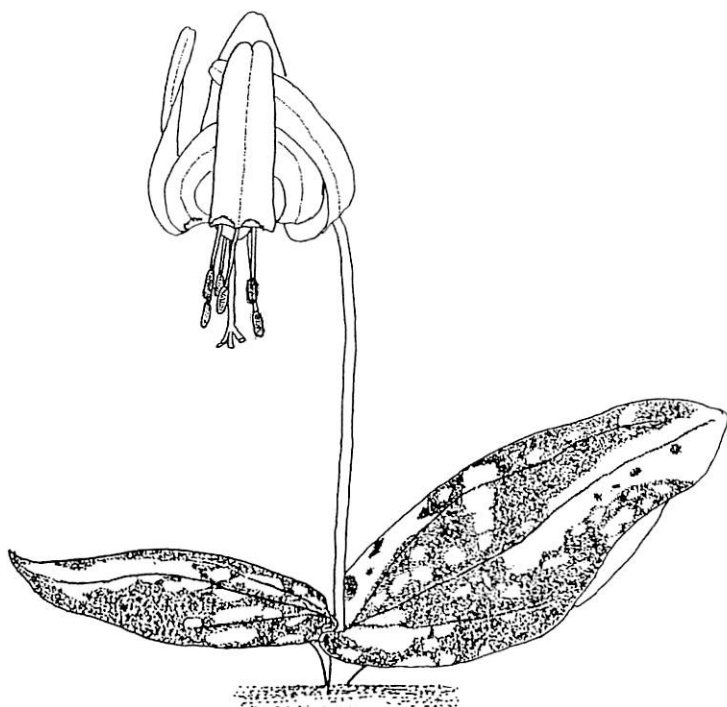


# 協議会ニュース 142号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2014. 3



カタクリ (ユリ科) 岡田 慶範 (西三河支部)

平成 26 年度通常総会・講演会	・・・ 2
事故事例に学ぶ！	尾張支部/知多支部 ・・・ 3
レポート 新指導員歓迎会&協議会交流の日	三河支部 ・・・ 4、5
平成 25 年時受託事業	尾張支部 齋竹 善行/知多支部 降幡 光宏 ・・・ 6
会員情報/本の紹介	東三河支部 中西 正 ・・・ 7
〃 /小学校での取組紹介	尾張支部 佐々木 和治 ・・・ 7
支部総会報告	尾張支部 齋竹 善行/東三河支部 寺本 和子 ・・・ 8
自然観察のヒント	名古屋支部 山田 千宏 ・・・ 9
私の活動紹介	西三河支部 山本 博美 ・・・ 10
理事会報告	・・・ 11
お知らせ・編集部	・・・ 12

# = 平成 26 年度通常総会・講演会 =

愛知県自然観察指導員連絡協議会の通常総会を次のとおり開催します。総会は一年を振り返り、新たな年度の事業などを決定する日です。日頃出会う機会の少ない遠方の会員との出会いや交流の場でもあります。是非ご参加ください。

日時 平成 26 年 3 月 21 日 (金・春分の日) 午後 1 時 30 分～

場所 日本特殊陶業市民会館 3 階 第 1 会議室

名古屋市中区 金山一丁目 5 番 1 号 Tel (052) 331-2141

交通：地下鉄・J R・名鉄「金山駅」北口から徒歩 5 分

名札を持参  
してください

## = 次第 =

13:15 受付開始

13:30 平成 26 年度通常総会開会宣言

- 1) 総会参加者数の報告
- 2) 平成 25 年度の協議会各理事紹介
- 3) 会長挨拶
- 4) 総会議長、書記の選出
- 5) 総会議事
  - ① 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告
  - ② 第 2 号議案 平成 25 年度決算報告  
監査報告
  - ③ 第 3 号議案 新役員承認
  - ④ 第 4 号議案 平成 26 年度事業計画(案)
  - ⑤ 第 5 号議案 平成 26 年度予算(案)
  - ⑥ 質疑応答他

14:30 総会終了宣言

～～ 休憩 ～～

14:50 講演会

演題「日本すみれ紀行」

講師 いがりまさし氏 写真家 豊橋市在住、東三河支部会員

1960 年愛知県豊橋市生まれ。関西学院大学文学部美学科中退。

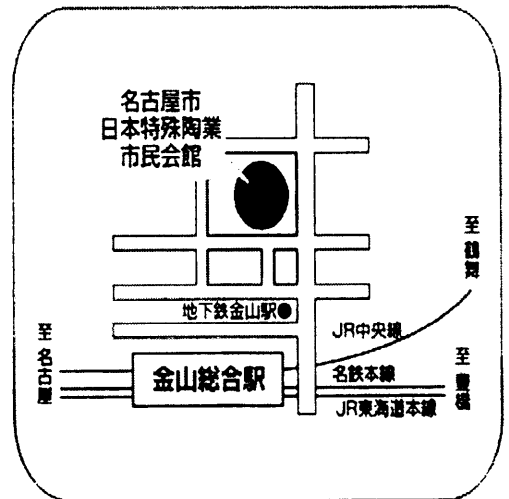
著書「日本のスミレ」(山と溪谷社)、「日本の野菊」(山と溪谷社) 他

16:20 閉会・後片付け

16:30 会場退出

※ 当日の連絡先 090-3935-8192 (事務局：浅井携帯)

※ 総会終了後、懇親会 17:00～ (希望者は各支部長に事前連絡)



# 事故事例に学ぶ！

その1

平成 24 年、25 年、観察会の最中に事故が発生しました。事例を各支部から報告していただきます。事故発生！ その時、みなさんはどのように動きますか。

## ■尾張支部の事例報告

平成 24 年 8 月 11 日（土）、川での観察中に子どもさん（12 歳）が骨折をした事例  
事故の概要

水生昆虫調査の時に何気なく投げられた角張った石が指に当たり骨折するという事故があった。外傷消毒液で手当てをしてガーゼ付き絆創膏で応急処置をし、整形外科に行くと、お盆前でしばらく休みになるので対応できないと断られ、大きな病院を紹介されて、感染症予防のために点滴を打つことになった。主な反省点として以下 2 点があげられる。①速やかに傷口を流水洗浄する必要がある。②休日診療（お盆の期間など）のことを調べておく必要があった。

### 保険の適用と余談

定例観察会での事故であったため、愛知県自然観察指導員連絡協議会で加入している自然観察のリクリエーション損害保険が適用となり、通院保険日額 3,000 円×通院日数分が給付された。余談だが骨折した子どもさんの保護者から「保険金がおきて助かりました」と連絡があった時は、ご家族の心労やさまざまな出費が重なったことを聞いていたので、救われる思いだった。

## ■知多支部の事例報告

平成 25 年 10 月 5 日、観察会に参加された子どもさん（8 歳男子）が怪我をした事例  
事故の概要

マツカサの実が風に舞いながら落下する様子を見せようと観察現場で再現していたところ、そのひとつの実が近くにあったテーブルの形をしたモニュメント上に風に舞いながら落下した。それを見ていた子どもさんがその実をしゃがんで拾い立ち上がったところ、モニュメントの一部である突起物に頭が当たり負傷した。すぐ担当指導員が応急処置をした。出血もすぐに治まり事なきを得たが、傷の部位が頭部であるため、念のため近くの病院を保護者に紹介して病院で手当を受けた。病院で負傷部を診断処置された結果、幸いにして打撲傷で済み、その日だけの治療で終わった。保険は当日一日分が適用された。

今回の観察会に先立ち、当然のことながら 2 週間前に観察会に参加する指導員 17 名にて下見をし、観察コース内の危険個所の有無、危険個所の回避、危険な動物・植物のチェック等万が一に備えて観察日に備えたが、予期せぬトラブル災害が発生した次第である。当支部ではこの事故の状況報告と傷害保険・賠償責任保険などについて再確認と認識をして観察会時の安全対策について啓発した次第である。

※安全対策については、次号に「事故から学ぶ その2」として掲載します。（編集部）

## レポート 新指導員歓迎会

## & 協議会交流の日

西三河支部 深見 弘

【日時】平成 25 年 11 月 30 日(土)10:00～15:30

【天候】快晴

【場所】愛知県緑化センター「昭和の森」交流館とその周辺（豊田市西中山町）

【プログラム】

10:00～12:00 自然観察会：昭和の森 テーマ：紅葉・木の実

12:00～13:30 昼食；バーベキューと鍋を囲む & オカリナ演奏

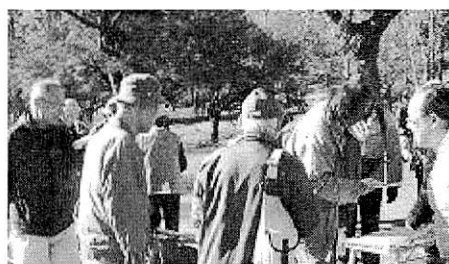
13:30～15:30 交流会（新指導員歓迎と支部間交流）：交流館附属棟

【参加者】42 名（名古屋支部 11 名、尾張支部 5 名、知多支部 1 名、  
東三河支部 2 名、支部未加入 1 名、西三河支部：22 名）



午前は名残の紅葉の中で自然観察会を行いました。

昼食は、西三河支部会員がバーベキューと鍋の前で待機。スムーズに昼食に入ることができました。「オカリナ演奏を今から始めます。聞いてください」と発表があり、皆さん驚かれたでしょうか。実は当支部の山本博美会員の申し出によるもので、大変好評だったようです。山本会員とご友人 2 人に感謝いたします。食後のドングリ茶、ドングリコーヒーも好評でした。



▲当日朝の受付の様子

昼食後、交流館附属棟で午後のプログラム「交流会」をスタートさせました。新指導員 11 名の自己紹介と抱負を発表、続いて支部ごとに指導員全員の自己紹介。その後、意見交換を行いました。また会場に展示した西三河支部 河江喜久代会員手作りの自然の材料（木の実など）を使ったクラフトに関心が集まっていました。

全日程を無事に終え、記念撮影をして解散しました。



▲みなさん、集合写真ですよ～！

写真下中央の黒いシルエットは、撮影をしてくださった降幡 光宏会員。

## 昭和の森 自然観察会「紅葉、木の実」

西三河支部 岩月 秀範

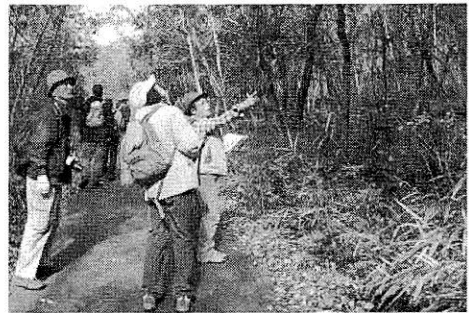
昭和の森は土地が痩せているため、尾根筋にはモンゴリナラ、ネズ、アカマツなどが優先的に生えています。好天の観察会でしたのでモンゴリナラとコナラの紅葉の対比、ナツハゼやモミジの赤系統の葉などを見てもらい、実はネズ、イヌマキ、ナツハゼ、ガマズミなどを食べてもらいました。味の感覚は個人差が大きくさまざまな評価でした。

尾根筋をぬけ湿地へ行くと、シラタマホシクサの名残がヌマガヤと一緒に風に揺れていました。トウカイコモウセンゴケのロゼット状の葉が寒そ

うに地面にへばりつき、冬の訪れを告げていました。東海自然歩道にもなっている舗装道路では、タカノツメの黄葉が目立ち、個体数の多さを誇っているように見えました。

再び尾根筋に出るとクヌギとコナラの植林地が見られ、コナラ林にはイチヤクソウの緑の葉が多く見られ、春の開花が楽しみです。下り道になるとレモン色の2cmくらいの球状のワルナスビの実が目立ちました。名のように茎には刺があり、一面にはびこっています。

時間の制約がありやや足早でしたが、晩秋の里山を楽しんでいただいたと思います。



▲あれは、なに？

## 「おもてなし隊」レポート

西三河支部 石川 正雄

「お・も・て・な・し」。平成25年の新語・流行語大賞にもなったこの言葉は、協議会においても重視されました。

協議会交流の日の行事における私石川と河江会員に課せられた命題は新入会員（新指導員）をもてなし、現会員ももてなし、親睦を深めることです。実りの秋を実感できるようなおいしいものでお腹を満たせば自然に交流が図れるんじゃないか。そういう単純明快な発想からバーベキューを



▲紅葉の秋、食欲の秋！

決行しました。いろんな方々が食べ物を持ち寄ってくださり、食卓は非常に充実しました。そして河江会員が実に頼もしい。汁ものを全部仕切ってくれたうえ、ドングリ・クッキーやいろいろな“実り”を用意してくれました。これだけメニューを充実させた結果、短い時間に大盛況とまではいわないまでも、みなさん十分にお腹を満たし、会員同士、支部間の交流ができたのではないのでしょうか。……と表現が曖昧なのは、私自身が3箇所の炉の炭を継ぎ足して火力を調整し、自家製スペアリブを焼いて回りと、てんてこ舞いで新入会員の方々とあまり交流を深められなかったからですけどね。

会員の皆様、また一緒にバーベキューを囲み、交流を深めましょう。

## ■平成 25 年度受託事業 その 1

= 新郊中学の自然観察ハイキング =  
尾張支部 齋竹善行

日時：7月4日（木）8:40～13:30

場所：名古屋市野外教育センター（豊田市稲武地区）

対象：中学2年生85名（9つに班分け）

指導員：尾張支部会員7名（他に2名）

名古屋市立新郊中学から愛知県自然観察指導員連絡協議会に自然観察ハイキングの指導者7名の派遣依頼があり、尾張支部の会員で対応しました。

当日到着した時にはかなり強い雨が降っていましたが、天気は回復するとの読みで当初の計画どおり自然観察をしながら面ノ木牧場まで行き、昼食だけ場所を変更して避難小屋でとることにしました。

強い雨の中、合羽を着て各班3分の間隔をあけて出発し、沢沿いのコースを登りました。林の中では樹の葉のおかげで雨は気にならず、間もなく小降りになりました。

日頃自然に接する機会が少ないためか、生き物について知らないことが多いようで、説明したものすべてが初めて見たり、聞いたりしたものといった感じでした。班ごとに観察して記録する区間が決まっており、そこではデジカメで写真を撮ったり、質問をしたりして、熱心に観察していました。

このハイキングでは子どもたちは初めて体験したことが多いようでした。自生のワサビをかじったり、ナガバモミジイチゴの実を味わったり、コクサギやシロモジの葉の匂いを嗅いだりしたことが印象に残ったという子もいました。サワガニやヒキガエルが出現して、盛り上げてくれました。

日頃の定例観察会の参加者は高齢者が多いので、このハイキングでは子どもたち自然に対する見方が垣間見られ、よい体験ができました。

## ■平成 25 年度受託事業 その 2

= 面の木の自然に触れよう =  
知多支部 降幡 光宏

日時：10月3日（木）9:00～12:40

場所：豊田市稲武町面の木

対象：名古屋市立沢上中学校2年105名

指導員：12名

下見は実施日に近い日曜日とし、9月29日に行いました。予定されたコースをゆっくり回ったので記録写真もたくさん写すことができました。

天気も良くお手伝いをする方、生徒さん、引率の先生方それぞれ有意義に活動できたと思います。

当日の行程は学校から提案していただいたように次のように進んだと思います。

8:30 現地到着

8:50 はじめの会（第2キャンプ場）

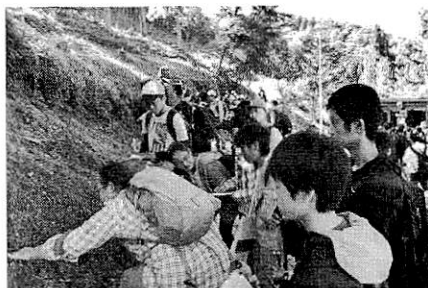
9:10～10:30 第2キャンプ場での自然観察

10:30 ハイキングコースへ

10:40 グループに分かれて、ハイキングコースBOLでの自然観察

12:30 面の木駐車場到着

12:40 終わりの会



▲観察会の様子

## = 会 員 情 報 =



### ■本の紹介

「穂の国の自然

ー植生の視点でー」

東三河支部 中西 正

「穂の国」は三河の古名です。三河の自然は多様で魅力に満ちています。植生調査をするにつけ、それを感じます。この自然を機会あるごとに紹介してきました。本書は、それらを再掲



し、まとめたものです。内容は、Ⅰ三河の植生、Ⅱ地形から見た自然、Ⅲ穂の国の自然、Ⅳ四季の植物という4つの章建てをしています。これは1つの自然に対して、見方を変えた4種類の方法で記述したものと

いえます。植物を単体として見ている場合と違って、集団ー群落ーとして見る場合には一定の訓練が必要になってきます。このために植生を論じる人は少なく、大切な分野にも関わらず、地方ではそれを担う人は希薄になっています。

その様な状況の中で、本書が植生の視点で述べたことが、三河だけでなく愛知県全体の自然を知り、自然保護をするための一助になれば幸いです。

.....

元愛知県自然観察指導員連絡協議会会長である中西 正会員が、本を出版されました。出版されたその想いをご自身で紹介していただきました。書籍は、シンプリブックス発行 2,000 円＋税。豊橋市内の本屋、またアマゾンで購入可能です。(編集部)

### ■小学校での取組紹介

長良川背割堤の野鳥観察

尾張支部 佐々木 和治

背割堤は岐阜県羽島市から愛知県愛西市までの約 12km の、木曽川と長良川に挟まれた堤防です。100 年前に治水の目的で作られました。

私が 10 年間野鳥観察指導をしてきた愛西市立田南部小学校福原分校について報告します。毎年 1 月に背割堤の野鳥観察があります。最初の年は生徒さん 13 名、最後の年は 4 名でした。

野鳥観察のメインは、コハクチョウの観察です。多い年には 100 羽以上、少ない年でも 10 羽以上見られました。(私はコハクチョウの越冬地の南限と思っています。)

カモも、マガモ・カルガモ・ヒドリガモ・オナガガモ・コガモ・ハシビロガモ・ヨシガモ・トモエガモ(顔に巴模様が有り、希少種です)等々多い年には 300 羽以上見られました。

オオバン・カンムリカイツブリ・コサギ・アオサギ・ダイサギ・ゴイサギ・ヒバリ・タゲリ・ケリ・ヒヨドリ・ツグミ・スズメ・アカゲラ・ハシボソガラス・ムクドリ・シロチドリ・ハマシギ等々。

タカ類では、ミサゴがよく魚を捕まえて杭の上で食事をしていました。チュウヒ・オオタカ・ノスリ・チョウゲンボウ等々。毎回 3~40 種類の野鳥が観察出来ました。飛ぶ宝石と言われるカワセミも、毎回見られました。生徒さんが居場所を良く見つけてくれました。長良川河口堰が完成する前は、木曽川の方がカモ類が多かったですが、完成後は長良川の方が多くなりました。長良川の方が湖状態であるためでしょうか。

## 尾張支部総会 報告

尾張支部 齋竹 善行

平成 26 年 1 月 13 日（月・祝）午後 1 時 30 分から、ウインクあいち会議室にて平成 26 年度尾張支部総会が開催され、17 名が参加しました。

議長に樋口会員を選出し、議案の審議を行いました。平成 25 年度事業報告（第 1 号）、決算・監査報告（第 2 号）、平成 26 年度役員選出（第 3 号）、平成 26 年度事業計画（第 4 号）、予算（第 5 号）の各議案が報告・提案され、承認されました。そのほか、機関誌の「尾張自然観察会通信」の用紙サイズを B 5 判から A 4 判に変更することとしました。

協議会関係の新年度事業は、「あいちの自然観察会」を 10 月 25 日に外来種・移入種をテーマに犬山市善師野で、尾張支部担当の研修会を 9 月 23 日にタカの渡りをテーマに長野県白樺峠で実施することとしました。

交流会では、協議会事業である竹の調査の尾張地域での実施状況（大谷）や、犬山市善師野でのモニタリングサイト 1000 里地調査の実施状況（平井）、木材断面の標本づくりとそれぞれの材の特徴（木村）、尾張自然観察会の PR パワーポイント（齋竹）について紹介がありました。

総会及び交流会の終了後、会場を変えて懇親会を行いました。

### ■尾張支部 平成 26 年度役員

支部長：齋竹 善行

副支部長：平井直人 事務局：日比理智 会計：木村眞一郎 監事：高谷昌志

通信編集：内海勇夫 通信発送：小嶋護 HP：山田博一 HP 補助：渡辺弘三

## 東三河支部総会 報告

東三河支部 寺本 和子

平成 26 年 1 月 25 日（土）に東三河支部（NPO 法人東三河自然観察会）の総会が開催され、31 名が出席、37 名が委任状により参加しました。

平成 26 年度の行事は昨年と同様、年 4 回の地域観察会、3 月から 12 月まで毎月 1 回開催される豊橋公園での定例観察会を開催することになりました。このほか、県営東三河ふるさと公園の定例観察会、新城総合運動公園の観察会などいくつかの観察会の受託も行っていく予定です。

比較的大きな変更点としては会員の 1 泊研修を、昨年度までの観光バスを使った本格的な旅行スタイルから、会員が自由に呼びかけあう気軽なものにしたところです。これは、会員が次第に高齢化するなか、1 泊研修を企画する会員の負担を減らすためです。

総会後には、片山卓也会員の「観察会と昆虫採集の道具」と題する講演が行われ、昆虫の写真に新しい気付きをしたり、自分なりに工夫された昆虫採集の道具に感心したりしながら楽しい時間を過ごしました。

その後、中華料理の食卓を囲みながら懇親会が行われ、散会しました。

### ■東三河支部 平成 26 年度役員

支部長：寺本 和子

副支部長：影山 博史（兼事務局）、岩崎 員郎（兼会計）





## 自然観察のヒント

# 南・・・？ 北・・・？

名古屋支部 山田 千宏

### 【冬の観察会】

昆虫だけが得意な指導員にとって、冬の観察会は……。私にとって、「私も冬眠しています！」と言いたいのが本音。手許に、『冬の虫 冬の自然』（福音館 かがくのほん）という絵本（？）があります。「わら巻きにいる昆虫」、「さなぎのいろいろ」、「土の中」……。んー、地味ですね。虫屋（この言い方は好きではないのですが）にとっては、わら巻きほどこき、朽ち木崩し、オサ掘り（何のことかわかりますか？）、とまあ、いろいろ珍しい虫を探す楽しみがないではないのですが、観察会でという、一時のことであたら命を奪うことになるので、個人的には好きではありません。この時期しか見られないフユシャク……。あれって、ずーっと飛び回っていて、なかなか止まらないんですよね。さて……。

### 【虫の本能、智恵】

そこで、少しは自然界の仕組みを考えるものを……。

写真を見てください。といっても、印刷ではよくわからないと思いますが、中央の黒っぽいものはなんでしょう。



よく見えないのが幸いかもしれません。虫嫌いの人には特に……。ヨコヅナサシガメの幼虫がウジャウジャウジャ……と固まっています。こうやって越冬しています。

さて、これは木の幹の北側でしょうか、南側でしょうか？

昆虫は変温動物ですよね？ というと、ヒントになるでしょうか。変温動物ではありませんが、熊なども、冬眠中はほとんど動きません。体力の消耗を避けるためですよね？ 冬の間はエサになる虫もいません。気温が上がって、やたら動き回るのは体力の無駄遣いです。となると、周囲の温度変化があまりないのが理想。幹の南側は、日中は温度が上がって夜は下がります。そのようなところにいたのでは体力が持ちません。人間的発想では南側にいたいもの。でも、それはヨコヅナサシガメにとっては命を縮めることになるかもしれないのです。幼虫は、北側の温度変化の少ないところでじっと春を待つのです。

### 【だけれども……？】

では、すべての虫がそうでしょうか？ でもテントウムシは違いますね？ 天気がいい時は、冬でもノコノコ歩いています。この差は何でしょう。そして、ヨコヅナサシガメ派の昆虫は？ テントウムシ派の昆虫は？ 探してみましょう!!

また、ヨコヅナサシガメが好きな木と、ほとんどいない木があります。それは……？ なぜ？ 調べてみましょう。

ちなみに、サシガメは臭くない……。はずです。私が気にならないだけでしょうか。ただ、カメムシのニオイの元はずーっと薄めると香水の原料に……。

# 私の活動紹介



## 1. 指導員登録の動機

小学校時代、帰宅後に遊ぶのはすぐ近くの神社の動植物だけでした。「ホーホッホ」と鳴くキジバトをフクロウ、クスノキをゲッケイジュだと思い込んで、ひとり楽しんでいました。

結婚後、住んでいた三重県鈴鹿市で自然観察会を知りました。毎月行くので、当時3歳の息子はすっかり指導員の言葉を覚え先回りして話してしまいます。私は穴にも入りたい気持ちでした。「すごいね。今度は君に代わってもらおうね」と指導員の方に優しく言っていただきました。

たまたま指導員講習会が有り、経験も知識もないまま指導員になりました。今は、いろいろ教えてくださる先輩方に感謝しながら少しずつ恩返しをしていこうと思っています。

## 2. 活動～現在と今後について

西三河支部の観察会で指導員として活動しています。観察会の依頼がある時は、時間の都合がつく範囲で協力しています。

私は、協議会交流の日（平成25年11月30日）の会場となった、豊田市藤岡地区という珍しい植物の多いホットスポットに住んでいます。その利点を生かし、植物の調査をしている先生方に、特別な湿地の場所を案内しています。

またモリコロパークでは、インタプリターをしながら、自然観察系のイベントではオカリナ演奏で出演しています。

日頃、観察会で心掛けている事は、特に子どもが参加する場合は、自分が説明するだけでなく、クイズなどを出题して参加者全員で作りに上げていく観察会が出来たらと思っています。

平成26年度以降は、定期的に活動をする予定です。

西三河支部 山本 博美



▲すてきな仲間とオカリナ演奏

## 3. 人と植物のかかわり

最近、歴史が好きになったので観察会前に「昔の人の植物の利用法」を調べています。人生の諸先輩方に、植物のその地域ならではの名前、あるいは利用法の聞き取りをしています。たとえば、旧藤岡町や瀬戸市では、昔はモンゴリナラの葉で柏餅を作った（今はフモトミズナラを使う）という話を、10年ほど前に当時70歳位の方に聞きました。郷土の誇りモンゴリナラで作った柏餅、食べてみたかったです。

また外国に渡った日本の植物を調べるのも面白いと思います。例えばイギリス庭園にはタケニグサが植えられているようです。イタリアに行った時には、ジュリエット像の前にヤツデが植えられていました。アクセサリーなどのデザインに用いられるカメラは日本のツバキから、またベニス教会に彫刻されている聖母像のユリは、原種が日本のユリとも聞きました。このように日本原産の植物が外国の園芸種に貢献しているようです。

自宅前に咲くシデコブシは、外国でも大変好まれているようです。国際的に保護できたらと思っています。

## 平成 25 年度 第 4 回理事会 報告

日 時：11 月 23 日(土・祝) 13:30～

場 所：阿久比町中央公民館（本館）大会議室 301 東室 （3 階）

出席者：大谷、降幡、浅井、石原、近藤、辻、布目、永田、森田、石川、滝田、南川、  
三田、河江

### 議案 1 平成 25 年度あいちの自然観察会の活動の中間報告と支部研修会の報告

- ・ 平成25年度あいちの自然観察会（テーマ：田んぼの生き物）と支部研修について各支部から報告あり。
- ・ 平成26年度あいちの自然観察会のテーマは「外来種や国内移入種」。支部研修会のテーマは特に決定せず。いずれも各支部 1 回対応し、日程案は第 5 回理事会までに事務局に提示する。

### 議案 2 平成25年度自然観察指導員講習会の報告と平成26年度フォローアップ研修会

- ・ 平成25年度自然観察指導員講習会には、70名の応募があり49名受講、うち31名から入会届が提出された。定員いっぱい、若い人の参加も多かった。
- ・ 平成26年度フォローアップ研修会のテーマに、絶滅危惧種の保護、特定外来生物、国内移入種の問題を検討。新人の要望にも応えられるよう、新人歓迎会及び協議会交流の日にアンケートを実施することとした。

### 議題 3 生物分類の研修会などの報告と平成26年 3 月総会講演会の講師

- ・ 研修会報告については協議会ニュース141号参照。平成26年度も植物分類をテーマに実施し、講師として人間環境大学の藤井伸二先生に依頼予定。
- ・ 平成26年度総会講演会の講師として東三河支部会員のいがりまさしさんに依頼。

### 議題 4 タケの分布調査

- ・ 各支部から竹調査について中間報告。第 5 回理事会までに実施終了予定とした。

### 議題 5 新指導員歓迎会&協議会交流の日

- ・ 日時：11 月 30 日(土) 10:00～15:00 場所：昭和の森（豊田市西中山町猿田 21-1）
- ・ 各支部の参加予定者数などを確認。支部交流会では簡単な支部紹介を実施予定。
- ・ 平成 26 年度の協議会交流の日の開催支部は第 5 回理事会で決定予定。

### 議題 6 協議会受託事業の報告

- ・ 平成25年度に実施した 2 件 自然観察ハイキング（名古屋市立新郊中学校）、  
生物多様性セミナー（愛知県尾張県民事務所）
- ・ 実績を記録及び写真などデータとして残すことを確認。

### 議題 7 ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや

- ・ あいちの自然観察会（6 回）を、パートナーシップ事業として登録する。

### 議案 8 役員改選

- ・ 第 5 回理事会までに決定。

### 議案 9 各担当から

- ・ 編集 : 新人歓迎会でアンケート実施予定。編集体制の整備。
- ・ 名簿管理 : 各支部など会員の確認。
- ・ 保険 : 10 月 2 日知多で事故あり保険適用。10 月 1 日に傷害保険の料金改訂。

次回の理事会 2 月 11 日(火・祝) 13:30～ 音楽プラザ 第 1 控室(金山駅下車)

記録：事務局 石原



## << お 知 ら せ >>



### ■新指導員名 =訂正とお詫び=

「協議会ニュース」前号No.141 p 2、新たに会員となった方々（敬称省略）について誤りがありましたので、加筆・修正し、お詫びいたします。

知多支部 誤) 桑村リン ⇒ 正) 桑村りん

新指導員2名追加：鈴木汎（ひろし）、水野恭志（たかし）

削除：小笹幸多

### ■トピックス 外来種＝ムネアカハラビロカマキリについて＝

昨年 11/30 の新指導員歓迎会&協議会交流の日、豊田自然観察の森での観察会で外来種のムネアカハラビロカマキリの成虫3個体、卵鞘2個体が発見されました。その存在は知識としてあっても、実際に観察するのは初めてという会員も多かったようです。

豊田市では広範囲にわたって繁殖が見られ、春日井市東部丘陵や瀬戸市の海上の森でも複数確認され、名古屋市内でも確認されている

とのことです。ムネアカハラビロカマキリは敏捷で気性が荒いため在来種を脅かす存在。繁殖防止のためには、冬場に卵鞘を駆除することがポイントになります。ムネアカハラビロカマキリの卵鞘を見つけたときは、①写真に撮って記録、②実物は潰すなどして処理をする、以上2点について、会員のみなさんの協力をお願いいたします。



▲左：ムネアカハラビロカマキリ（成体）  
右：同（卵鞘）

### 編 集 部 か ら

■本年より表紙絵は、岡田慶範会員（西三河支部）が足助町の植物を中心に描かれたものを提供していただきます。お楽しみに！■編集担当に新メンバーとして馬場隆之会員（西三河支部）、日浦誠章会員（名古屋支部）が加わっていただきました。両名の活躍に乞うご期待！■引き続き、編集メンバーを募集中。下記、編集部近藤までご連絡ください。

#### 編 集 ス タ ッ プ

岡田 雅子 久米 未祐

近藤 記巳子 新山 雅一

馬場 隆之 日浦 誠章

#### 発 送 ス タ ッ プ

名古屋支部有志

#### 「協議会ニュース」編集部

〒457-0006 名古屋市南区鳥栖 2 - 6 - 17

桜本町C H 101

近藤 記巳子

TEL / FAX 052-822-7460

E-mail : konkimi@nifty.com

### ■愛知県自然観察指導員連絡協議会（あいち自然観察会）事務局

〒464-0096 名古屋市千種区下方町7-3

石原 則義

TEL/FAX 052-711-3087

E-mail : noriyoshibob@yahoo.co.jp

■Web Page : <http://naichi.net/>

■郵便振替口座：00820-9-6546（名義：愛知県自然観察指導員連絡協議会）

平成 26 年度 通常総会資料(案) 愛知県自然観察指導員連絡協議会 平成 26 年 3 月 21 日 場所 日本特殊陶業市民会館  
第 1 号議案 平成 25 年度事業報告

1. あいちの自然観察会(各支部担当) 年 6 回

実 施 日	テ ー マ	人数	担当支部
4 月 27 日 (土)	田んぼの生き物 いきものふれあいの里 (西尾市)	20 名	西三河
5 月 25 日 (土)	棚田にすむ生き物 四谷千枚田 (新城市)	18 名	奥三河
6 月 8 日 (土)	田んぼのまわりの生き物たち 掛川小学校	15 名	尾 張
6 月 23 日 (日)	畑と水田の良い虫と悪い虫の観察 常滑市大谷	9 名	知 多
7 月 14 日 (日)	田んぼに生える野草の観察 才井戸流れ周辺の田畑	22 名	名古屋
11 月 10 日 (日)	秋の豊橋公園と沖野の田んぼのいき物たち (豊橋市)	26 名	東三河

2. 研修会

実 施 日	テ ー マ	人数	担当支部
5 月 6 日 (月・祝)	ハマヒルガオなどの海浜の植物 鬼崎海岸 (常滑市)	28 名	名古屋
5 月 25 日～26 日 (土・日)	北設楽郡津具を尋ねて	7 名	知 多
6 月 22 日 (土)	干潟の生き物観察 六条潟 (豊橋市)	23 名	東三河
7 月 21 日 (日)	海辺の生き物とエサキムカシハナバチの観察佐久島 (西尾市)	10 名	西三河
8 月 31 日 (土)	伊吹山の生き物 (高山植物、昆虫) 伊吹山 (滋賀県伊吹町)	15 名	尾 張
11 月 10 日 (日)	鳳来寺の高徳林道を歩く巨岩、巨木、不動滝を見る	8 名	奥三河

3. 総会・講演会 日時: 3 月 20 日 (水・祝) 13:30～ 名古屋国際センター (3F 第二研修室)

演題「季節的に長距離を移動する昆虫の生活・アサギマダラ、ウスバキトンボ、アキアカネなど」

講師 金沢至氏 (大阪市立自然史博物館 昆虫担当主任学芸員) 参加者 50 余名

4. 自然観察指導員講習会 日本自然保護協会・愛知県主催 愛知自然観察指導員連絡協議会後援

日時 9 月 7 日 (土)～8 日 (日) 場所 犬山国際ユースホステル 参加者 49 名

講師 勝山智男 (国立沼津工業高等専門学校教授) 一寸木 肇 (大井町教育委員会おい自然園園長) 他

指導員 14 名参加

5. 新指導員歓迎会&協議会交流の日 日時: 11 月 30 日 (土) 10:00～15:00 場所: 昭和の森 (豊田市 1)

●昭和の森 自然観察会 10:15～12:00 ●昼食 12:15～13:15 バーベキュー場にて

●新指導員歓迎会&支部交流会 13:30～15:00 交流館附属棟にて 参加者 42 名 (含む新指導員 11 名)

6. 受託事業について 2 件

自然観察ハイキング (名古屋市立新郊中学校) 指導員 7 名派遣

生物多様性セミナー (愛知県尾張県民事務所) 指導員 3 名派遣

7. 生物分類の研修会 日時 10 月 14 日 (月・祝) 13:30～ 日本特殊陶業市民会館 第 1 会議室

講師 矢部隆氏 (愛知学泉大学教授・なごや生物多様センター長)

演目 「生物分類について」と各支部紹介

参加者 指導員 51 名 (新指導員: 7 名) 一般の方: 24 名 合 計 75 名

8. タケの中間報告

9. 機関誌「協議会ニュース」の発行 3 月 5 月 8 月 12 月

10. HP

11. パンフレットの発行

12. 理事会

第 1 回 3/20 第 2 回 5/5 (名古屋) 第 3 回 7/15 (尾張) 第 4 回 11/23 (知多) 5 回 2/11 (名古屋)

13. ESD 対応

第2号議案 平成25年度収支決算報告（H25年2月1日～H26年1月31日）

収入

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引	決算/予算(%)	備 考
会 費	743,000	677,930	▲ 65,070	91%	会員352(内家族10)名
保険料	120,000	105,620	▲ 14,380	88%	保険料(観察会徴収分@40円×2,638人分)
寄付金	2,000	700	▲ 1,300	35%	
受託還元金	0	13,900	13,900		自然観察ハイキング(稲部 神郷中)、生物多様性セミナー
雑収入	16,000	18,586	2,586	116%	H25協議会加入事務負担金(500円×30名)、利息171円
前期繰越金	1,783,280	1,783,280	0	100%	
合 計	2,664,280	2,600,016	▲ 64,264	98%	

支出

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引	決算/予算(%)	備 考
自然観察会費	170,000	146,190	23,810	86%	保険料(@40円×3,000人分)、協議会パンフレット作成、保険料返戻金(△10,640円)
調査費	20,000	0	20,000	0%	
研修会費	100,000	95,460	4,540	95%	10/14生物分類の研修会、11/30新指導員歓迎会&協議会交流の日
機関誌作成費	360,000	311,340	48,660	86%	印刷代、送料、封筒・切手等
受託事業費	0	0	0		
事務費	295,000	298,184	▲ 3,184	101%	観会、理事会開催、HP運営、理事等事務費他
次期繰越金	1,719,280	1,748,842	▲ 29,562	102%	
合 計	2,664,280	2,600,016	64,264	98%	

平成25年度収支決算報告について、決算報告書並びに通帳、会計帳簿、支払い等証拠書類を監査したところ、いずれも正確で事実と相違なかったことを報告します。

平成26年3月21日

愛知県自然観察指導員連絡協議会

監事 神原 靖

河江 喜久代

### 第3号議案

#### 役員の改選

会長 大谷敏和 副会長 降幡光宏 副会長 星野芳彦 事務局長 石原則義 会計 辻 愛子 吉田雅紀  
 名簿管理担当 森田琢磨 保険担当 布目 均 調査担当 瀧崎吉伸 研修・観察会担当 浅井聡司  
 保全担当 堀田 守 広報担当 石川正雄 編集担当 久米未祐 HP担当 永田 孝  
 尾張支部 齋竹善行 名古屋支部 滝田久憲 知多支部 南川陸夫 西三河支部 三田 孝  
 東三河支部 寺本和子 奥三河支部 浅井聡司 (監事 榊原靖 河江喜久代)

### 第4号議案 平成26年度事業(案)

#### 1. あいちの自然観察会(各支部担当)年6回 テーマ「外来種・移入種について」

実施日	時 間	内 容	実施場所	集合場所	担 当
5月6日	10:00～12:00	外来種・移入種	小幡緑地	トンボの時計台	名古屋支部
8月3日	9:30～12:00	外来種・移入種	豊田市逢妻男川	若林交流館	西三河支部
8月23日	9:30～11:30	外来種・移入種	東浦町須賀川	南部ふれあいセンター	知多支部
10月25日	9:30～14:00	外来種・移入種	犬山市善師野	広見線禅師野駅	尾張支部
11月2日	9:30～12:00	外来種・絶滅危惧種	豊川市旗頭山	金沢墓園駐車場	東三河支部
適宜					奥三河支部

#### 2 研修会(各支部担当)年6回

実施日	時 間	内 容	実施場所	集合場所	担 当
5月17日	10:00～15:00	磯と海浜植物	伊良湖	恋路ヶ浜駐車場	東三河支部
6月7～8日		自然一般	夜叉が池	大池公園 7:00	知多支部
8月31日	8:00～17:00	秋の草木観察会	茶臼山	地下鉄本郷駅	名古屋支部
11月2日	9:00～15:00	キノコを学ぶ 午前:観察会 午後:講義(研修室)	豊田市自然観察の森	豊田市自然観察の森 駐車場	西三河支部
9月23日		タカの渡り	白樺峠(松本市)		尾張支部
適宜					奥三河支部

#### 3. 総会・講演会 3月21日(金・祝) 13:30～ 日本特殊陶業市民会館 第1会議室

演題「日本すみれ紀行」 講師/いがりまさし氏 写真家・豊橋市在住

#### 4. 外来種・移入種の事前学習会 4月29日(火・祝) 13:30～ 日本特殊陶業市民会館 第1会議室

講師 増田理子氏(植物担当・名工大准教授)・

講師 宇野総一氏(昆虫担当・ピオトープネットワーク中部副会長)

#### 5. フォローアップ研修会 9月6日(土)～7日(日) 場所 庄内緑地グリーンプラザ 講義室予定

#### 6. 生物分類の研修会 10月13日(月・祝) 13:30～ 日本特殊陶業市民会館 第1会議室予定

講師 藤井伸二氏(人間環境大学准教授) 予定 演題「植物分類について」・各支部紹介

#### 7. 協議会交流の日 11月24日(月・祝) 大高緑地の自然観察会 名古屋支部担当

#### 8. タケ調査(1年延長)

#### 9. 機関誌「協議会ニュース」の発行 3月 5月 8月 12月 4回

#### 10. HP

#### 11. 理事会 年5回 1回 3/21 2回 5/5(名) 3回 7/21(西) 4回 11/30(東) 5回 2/11(名)

#### 12. ESD対応

第5号議案 平成26年度予算（H26年2月1日～H27年1月31日）

収入

科 目	予 算 額	25年度予算額	差 引	備 考
会 費	803,000	743,000	60,000	会員400(内家族6)名分(@2000×400+@500×6)
保険料	120,000	120,000	0	保険料(観察会徴収分@40×3000人分)
寄付金	2,000	2,000	0	
受託還元金	0	0	0	
雑収入	0	16,000	▲ 16,000	
前期繰越金	1,748,842	1,783,280	▲ 34,438	
合 計	2,673,842	2,664,280	9,562	

支出

科 目	予 算 額	25年度予算額	差 引	備 考
自然観察会費	120,000	170,000	▲ 50,000	保険料(@40×3000人)
調査費	20,000	20,000	0	タケの分布調査等
研修会費	100,000	100,000	0	講師謝金、会場費等(年2回)
機関誌作成費	360,000	360,000	0	発行回数年4回、編集会議、印刷代、送料、封筒代等
事務費	295,000	295,000	0	総会、理事会開催、HP運営、理事等事務費他
次期繰越金	1,778,842	1,719,280	59,562	
合 計	2,673,842	2,664,280	9,562	